次聯合委員會は

する中央政権問題の發展經過 會議の最後的打合と見られそ相の閣議ならびに参議會に對 一月中に成立すべき中央政治氏の西尾總司令官訪問、畑陸 王、暴三互頭會談とゝもに十氏の西尾總司令官訪問、畑陸 王、暴三互頭會談とゝもに十

凡ての懸案解決され

は政治會議

し佛軍が未完成のまゝ放棄した塹壕を發見したと傳へられる傾に進入した最初のニュースである、関境突破の地點につい

ランス軍も高射砲をもつてこれに對抗し闡婉線内百六十粁の地點まで使入軍は再び砲撃を加へ來り國域線内十粁の地點にあるフランス都市はドイツ

【ベルリン州一日發國通】ドイツ

國境際

軍

R IN THE

高質議

ドフは對日關係に関して左の如く述べた に対して方の加く述べた 本最初のソ聯第五次最高會議が三十一日夜クレ 本最初のソ聯第五次最高會議が三十一日夜クレ 大殿勃發によつてソ際の外交方針に重大な變化 右演説中モロ

政業しこれを潰走せしめた を関し北黎水北方附近の敵 を関し北黎水北方開近の敵 を関し北黎水北方一帯に陣 数百名よりなる敵部隊を 地を構築し置動しつ、あり 地を構築し置動しつ、あり



外装関境における個突に を変態の用意を有するものである【寫版はモロトフ外洗人民委員】 外装関境における個突に を変態の用意を有するものである【寫版はモロトフ外洗人民委員】 外装関境における個突に が、これを契機として漸 光を見るに至つたが、日本 ・、これを契機として漸 ・、これを契機として漸

【○○基地州一日發國通】院 の荒鷲山口、山崎、内藤各部 様の大編隊をもつて西疆海線 表の要額實鑑を急襲、同停車 場並に軍事施設を爆碎多大の

企畫院書記官 曾 彌 盆外務群合 (東京國通)

数十四節潰毛 一下十九日敵州四節の一 では一下十九日敵州四節の一

題とする日滿司法事務の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねて日本の司法部では兼ねている。

な所、中華民國臨時政 地各司法關係方面と種 地各司法關係方面と種 地各司法關係方面と種 地名司法關係方面と種 地名司法關係方面と種 地名司法關係方面と種

本務共助に関する重要議題の とになつてをり日浦間の司法 とになつてをり日浦間の司法

中澤壽氏(被服製造工場) 心田未弘氏(滿鐵社員)同 谷井養一氏(國際運輸)同

山清大郎氏(平松洋行)

彦氏 (教員) 大都ホテ

實鷄を空襲

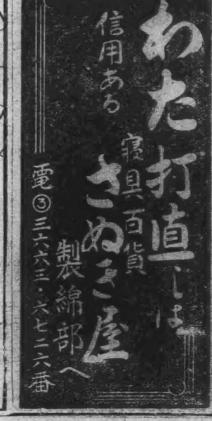
家 遠 連 絡 會 識 開 催

來る六日から新京で

製造元 乗 県 高崎舎社 **比留間商店** 乗売市之医所権マンナ

事往來





懸案の日満開拓國策 議會で最後決定 側原案殆ど無修正で可決

スリー政府は卅一日午前八時全 表した、右によればムソリー 実した、右によればムソリー 二首相(ならびにその策験)

左の通り

開拓國策の全貌

革武官歡送會

最大に開催された 【窓鷹は田小路の歌送別會は一耳正午かる人物駐浦

荷鉛 51

梅ケ枝

街大同大市别特

の日

迭注目さる

郷閣僚の更

松佐米荒佐東山伊見井小原木倉木葉 本澤明築杉 木倉 正疆 凡 四正 正過

氏(鄭金屬社員) 同

志崎新京商業校長

一個を窃取してゐた、余罪取 と云ひ、靴下八足(十六個) と云ひ、靴下八足(十六個)

又同八時五十分領洋品部から靴下七、八足を業早く萬 りした滿人男を同所で買物 けでうとするのを捕へて派 げやうとするのを捕へて派

犯罪季節の訪れではある。そして警民一致、總力以て防犯に一段の完整をと呼ばれてゐるを展開しつゝある、正に類そ强盗、窃盗事件相次いで全市大浦物陣が繰り展げられ年末への行進と共に慌しい世相を展開しつゝある、正にかける等積極的に活躍しつゝあるが、この鐵壁防犯陣の網の目をくゞる犯罪は早くも市内障所に惹起、昨夜は左の犯罪季節の訪れに首都警察廳司法科では防犯の完重を期し懲夜を置いて不遇徒輩の一齊檢案に或は防犯協會に働き

不逞跳梁!警戒せよ犯罪季節

1 され同十一時終了した され同十一時終了した

|協和會館で嚴肅な授與式

節の住屍をトレ午前九時國防軍人會新京聯合分會では明治軍人會新京聯合分會では明治

(二).

市内崇智朝同一〇五坂本部介 氏(四一)は三十一日午後七 大氏(四一)は三十一日午後七 大大二着時度三百五十層と 一ボギニ着時度三百五十層と 上た棚東軍へ收める額面一萬 した棚東軍へ收める額面一萬 上た棚東軍へ収める額面一萬 一八季 各層 三日日に

上の狂成資を挙げてゐる所京一の中心部から遠距離

バス運行時間を左の通り變更 時間變災御知らせ

一四美尚女(六四)と西五 (三八)がモヒ三十包を密 質買中を ・ 一一の場合が、日本橋通 ・ 一一の美術女(六四)と西五 ・ 一一の美術女(六四)と西五 ・ 一一の美術女(六四)と西五 ・ 一一の美術女(六四)と西五 ・ 一一の美術女(六四)と西五 ・ 一一の美術女(六四)と西五

區法院が出張所

ては不便と

調停はこちら

御遠慮なく

大経路を買っしぐら、馬車が を 大経路を買っしぐら、馬車が を 大経路を買っしぐら、馬車が を 大に関いかよったのに仰 大に関いかよったのに仰 大に関いかよったのに仰 大に同びは咄嗟に立ち直っ 大に同びは咄嗟に立ち直っ 大に同つたが力及ばず遂に組敷 かれてしまつた、馭者は上衣

遠捕に至らない。

・ 全市に非常線を張つて犯人馬 ・ 大ので同氏は近くの桃源路派 ・ 長通路署で直く様本廳と連絡 ・ 長通路署で直く様本廳と連絡

五十銭)を自轉車該共窃取し所用中洗濯物(四百三十八圓

不覺。車上に寢込んで

三十一日午後八時五分頃日本 橋通三五金泰洋行洋品賣場か ら満人男が革製ジャンバー(た期限店員夏光財(一九) 君は引つ捕へて日本橋通派出 所へ引渡した、右は崇智胡同 一〇一正光社店員徐相麒(三 九)でジャンバーの他電氣ア 九)でジャンバーの他電氣ア 大十四)手提カバン

これを擴充强化し國防國家時のあつたが、民生部では更に 本目覺ましき。 とになつた とになった とになった とになった とになった とになった とこと とになった とこと とになった

員や得た 松岡副局長歸京

各機關歷訪

まなる放送

給料七、八十圓以上 年齢廿五六歳迄

つたや旅 では 下三丁目 館內

▲七・三〇嗣演(新京)中村 ※大▲七・四〇端洲便り(新京)▲八・一〇郷土ニュース (龍本・外)▲九・二〇歌謡曲 「武湊略つとも外敷曲」(東 京)東海林太郎 匠 溝口健二演出作品 0 話京漫 四馬吉 18 第一回作品 進出 ☆○敬

場內支店

ソ製 麺 拠 工 場のに御願申上候のに御願申上候 迷惑御掛け

支給す 株式會社問組新京出張所 十一日候間無効に付き越告候也 新京滿州與業銀行本社 新京滿州與業銀行本社

滿洲煙草株式 會社

株式名義書換停止公告業書換を停止致候

電業五

取締役出席の上 記長を始め前孫副 記長を始め前孫副 本社講堂で記念式典

すはとで鮮京

一部八時着列車で大連から瞬 田した神田企豊盛長は一日 で大連絡會議に出席のため には、日本日した神田企豊の長は一日 で大連から瞬

展開氏は大の如く語った 日本内地も人物構成で人を 関係をかけてあるから後にで大変のであるから後に変に、 を変数に変なれたの如く語った を変数に変なれたの如く語った を変数に変なが、 を変数に変数に を変数に を変数を をを

八會を

團體往來 (1日)

哈市へ 一日午前八時一〇分 北海ダイムス社主催皇軍慰 石川鮮浦支視察園

固し

人屋族館 留年的一週間 ルピンサロン零波主人屋旅館

私事過日某會社の用事にて蒙古林西に 地張し九月八日歸京致しました所蒙古 が成立て全快致し十月三十一日退院致し した子人院中は種々と御心配下さいま した皆々様に不取敢紙上を以つて厚く

、小切手掛號 小切手盜難無效廣告 り〇六五三

冬のベビー服と肌着品揃ひ 愛國シ

午後六時まで警業

参拜者に賑ふ新京神社 亞 会館で明治節選邦式を舉行、 引養き郷軍創立記念式を行ひ 高終つて役員總會を開催する を一連行 を一連行 を一連行 を一連行 を一連行 を一連行 を一連行と異 の行はれるが、夏季運行と異 の行はれるが、夏季運行と異 のを季運 のを季運 を通行と異 のを手運行と異 のを手運行と異 奉公日 一時間中に短縮されることで

け

新京駅前競車一日 | 東期間=十一月一日より二

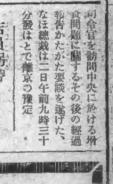
第二面有獎儲蓄債券第三次抽等公司有獎儲蓄債券第三次抽等。 (割増金千圓) 八四、〇四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 五九、七八四、一、四五六 三十二等(割增金十圓)

を地章君(孫吳) 青年園祝風 君(連山陽)の三君が代表し 君(連山陽)の三君が代表し 三君に滕園族を授與趙培綱君(青年團)、本溪趙培綱君(青年團)、本溪地培綱君(東年團)、本溪

五十個ならびにオートバイ 金五十個ならびにオートバイ 地タイヤ三本(時間二百五十 間)を投稿行方を晦したので で

周年









诗超季春度年四十和阳活日

畵映揚發神精道皇

中野忠晴

耐をが、何處かお祝ひごとの と見るとかぶりつきには寄いと見るとかぶりつきには寄いと見るとかぶりつきには寄いと見なれないで向ふの座敷の関で一のながある▼とんと見なれない。

からの隣りがい

の心の中、流石に顔色には出ったかったが「おい!」と客の方がら譯を掛けられて「鞠の方がら譯を掛けられて「鞠別が「おい!」と客がな」と思つたのは早合当かっただけあつて料理は美味いった」と褒めた文句の切り出しまれたらお通夜に行く

時刻、一ぶくつけなられた時はもうな

れしと、客

客の口からたで

相當いけさうだが結ばられり続子の数は空いてあ

マー女神。信州以 今新興京都作品、市川男家、時は難興時代、臆病者よどいはれた男女之助の相木奈之期が蓄然激起、相愛の和歌子の更科如と協力して悪疾之期が蓄然激起、相愛の和歌子の更科如と協力して悪疾之間が蓄然激起、相愛の和歌子の更科如と協力して悪疾之間が高級権三郎、親キネー日封切



奏を大路あどを集局 言ふ長大さで、又々問題が為映寫時間實に廿一時の全長が十六萬呎もあり 料して見ると、そのフト、然し撮影を終つてとだつたが、最近漸く

五十三次」である ・ であり ・ でも ・ であり ・ でもり ・ でも ・ 水絶對に映画の舞臺として 一君を呼ぶ歌」 東實新音樂映畵

全長何と十六

全二十五卷!!

. 近

英、 の 長篇 東、 の 長篇 りぬ」は撮影開始以来、主役 りぬ」は撮影開始以来、主役 りぬ」は撮影開始以来、主役 りぬ」は撮影開始以来、主役 りぬ」は最影開始以来、主役 りぬ」は最影開始以来、主役 しゅうしゅう

枝(音羽久来子)三木の秘 信特に豪華音樂映畵として誇 るに足る樂壇の特別出演者が をの如く決定し錦上花を添え から長春座に再演 山田制作及びその指揮によい山田制作及びその指揮によい、由利あけな、奥朗斯太郎、由利あけな、奥朗斯太郎、南部、西邊はま子、小田良三、楠木繁夫

とは明白年ら實際問題として まっかいる長大さでは、何んとも ならぬので、つひに高値なっ 全長十六萬呎のラキルムの内 にして映寫時間三時間廿六分と言ふ知時間にしてしまつた 演映文化映画部では紹介映画 生活」 企劃・



が らう▼「成程ネ、お通夜に吞動 がねばやり切れませんからネ がねばやり切れませんからネ かればやり切れませんからネ くんだがネ」と、別職務の正のたりはさもしくて嫌やだか 清州の多、極寒等下三十度 清州の多、極寒等下三十度 高州在住の人達は別として 長高のだらうと非常に興味 を持つて居りそして又知り たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たが事であらう。此の映畵 たが事であらう。此の映畵 たが事であらう。此の映畵

りかぶ 多 のたら 2



店開日

呈進品粗

滋 繁店獨特の

妻の大き

潮近萬松

西 并介 空眼 人東麗時治

果阪

を公開する 町に逝いて一年、今 そ等き英震に此の 篇を捧ぐ!! 西山 萩原 高峰 山田五十鈴 河原崎長十郎 公演 **感然たる種類前夜の京都三條通り悲情につゞる黎明樹** 輝ける時代映画の光驅者山中貞雄の遺産を翻承し のブルースに乗せて、新懋要寅次郎が異色俳優を撰りすぐ 州しき出襲を劃す 前進座一黨の満々たる 野望に注目せよ!! 寅次郎瞬 秀子 ク・ミネ ギャグで響殺 **追雄 東寶峽識提携作品** 前 進 座 前進座一黨 清川 サトウ・ロオロー 千葉早智子 中村翫右衛門 都十六 ılı **这千正** 六十錢 玉枝





Ci在前 机京特别市大同大街西〇六2 東拓ビス内(電空間九一七)



上指上映

各地商品市况

多勇



五四 言部



対機質交流に拍車

們田企畫處長歸任談

をは一層力を入れる方針で をは一層力を入れる方針で をは、五萬恵程覧いたいとの 四、五萬恵程覧いたいとの 四、五萬恵程覧いたいとの 四、五萬恵程覧いたいとの でも 本に約束した 日本側でも

側でも右調整令は九・一八物でも右調整令は九・一八物であるから漸次緩和乃であるから漸次緩和乃のことだ

相ない。 一豆油、豆粕を相當後ることに とに決つためでこちらからは とに決つためでこちらからは とに決つためでこちらからは とに決つためでこちらからは とに決つためでこちらからは とに決つためれ変棉

怒濤

英驅逐艦隊

之 介勇忠 〇五社

一には支那の最近においても加へて 一には支那の最近においてきれは同時に歐米依存政策を清めて、東洋人の東洋に めて、東洋人の東洋に でそれは同時に歐米 イエート勝邦、イギリ ランス、アメリカは勿 とごろがこのとを意味す ところがこのと変素工作 ところがこのと変素工作 ところがこのと変形とい でき加へて といれば同時に歐米 ところがこのと変形とい というのでも加へて というのでも加へて というのでも加へて というのでも加へて というのである。

型の は は で は で が に の 和 界間 別 の 和 界間 別 の 和 界間 別 の 和 界面 新秩序の 関際政治的 指置 ことは 周知の 事質であるから ことは 周知の 事質であるから ことを前提としなければならな た日 英東京経験になければならな た日 英東京経験になければならな で やりなほすとか、 また今で は 前 撮 を 始 めるとが で きた 日 来 の は の と で は 前 撮 般 といふこ で の は の よ に か に は 市 が で きた 日 来 の に は 市 が で きた 日 来 の に は 市 が で きた 日 来 の に は 市 が で きた 日 来 の に は 市 が で きた 日 来 の に い の よ こ で さが な き で は 市 は な らな さ で は 市 は な らな らな らな られ る が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な か に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 か に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な が に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 来 な に 日 ま な に 日 ま な に 日 来 な に 日 ま な に ま な に

たいに動いてゐることは既に いいに動いてゐることは既に でなればなるではなくて、老 でない。 ではなくて、老

は、今やそれこそ世界平和のは、今やそれこそ世界平和ので、おれらの東洋に口ばしをで、われらの東洋に口ばしをで、われらの東洋に口ばしをしてあるのだ。さらしてこの我儘坊ちゃんが、

に思はれるし、事實そんなけ

中のところ今般諸工事竣功來る十一月

弊社新京飛行場は狭隘を告げ新築工事

新京飛行場移轉御通

知

三日より新飛行場に移轉致しますから

にと色々のコインにと色々のコインにと色々のコインにと色々のコインンドが多いといふはつなりな関係まで勘定に入れて、野村外相に大いに期待すて、野村外相に大いに期待する向きもあるが、果して関係

舊に倍し御利用の程御顧ひします



及川司

書記官長は左の如く發表した「阿部首相が宮中に参内天息陛下に拜謁委曲奏上することゝなつた」、阿部首相が宮中に参内天息陛下に拜謁委曲奏上することゝなつた「阿部首相が宮中に参内天息陛下に拜謁委曲奏上することゝなつた

と初の會見

旗はためく出雲

氏宣真は及川司令長官

令長官

ととに感謝に堪へない火第 ないの運動に對して長官以下日の運動に對して長官以下日の運動に對して長官以下日の運動に對して長官以下日の運動に對して長官以下日の運動に対して長官以下日の運動に対している。

在 法氏は同戦役前日本留學當時の想出を語り、又漢詩に造詣 な等和やかな歌談に打興じ記 念撮影を行ひ約二十分の後長 官、新邁が在武官以下の見設

典亜院會議におい

一支の熱意を信頼 誠心を盡

重慶の和平云々は

須磨情報部長

の牽制

決意を左の如く重ねて開明し

成立を支援



派遣軍總司令官と會

川中將と初れ、支那方





、上海駐在武官岩村少長官室に入りこゝで及長官室に入りこゝで及

国連されたい と汪氏を激励、汪氏はこれに は同 自分は新東亜建設のため一 なる と力強く述べた、次いで長官心事しの抹茶を賞美した後一に無椅子に腰を下し及川長官に無機分に腰を下し及川長官に無機分に腰を下し及川長官に無機分に腰を下し及川長官に無機がある。

一月一日大分縣佐伯防備隊を 新設せられ海軍大佐佐藤波藏 は同除司令に任命せられたり (東京関通) 湿傑上尉は一日 なほ三日午前十時から長官 午後三時東京驛鏡さくらで歸 代理で温馨謀長臨場の下に 満の途についた

新設

職式を撃行せら

新孫行場

國交正常化を歡迎

が魔満洲國官邊の觀測 るり漁業問題等に於ける從來 関官邊筋では大體大のやうな 関官の動度に鑑み尚譽或を要する をころであるが右に對し滿洲

に対する。 ・ 注意を下してある。 ・ 注意を下してある。 ・ 注意を下してある。 ・ 注意を下してある。 ・ 注意を下してある。 ・ 注意を持っている。 ・ に対してをりまれがのできます。 ・ に対している。 ・ にがしいる。 ・ にがしいないる。 ・ にがしいないる。 ・ にがしいないないないない。 ・ にがしいないないないないないないないないない

を来し日外間の態度にも若干髪化 を来し日外間の態度にも若干髪化 た、その後外勝側は空席のま 上であつた駐日大使にスメタ 上であつた駐日大使にスメタ 上であった配日大使にスメタ 最近浦鹽及び島蘇里江に於て たことはあつたが、全般的に は満り國境に於ける外帯の態 度は毫も改善されてゐない、 では毫も改善されてゐない。

御東の場合に於ても同様である、たち満洲國側として も国境の明朗化は勿論希望 して日滿り関交の正常化に 協力せんとすることは歌迎 するところである

をできる

防防凍水 防水工事責任施工請負保証 新京朝日通り八番地 シフカー工事新京營業所 不急結劑 セメン



取扱業者に

新京祝町三丁目 (南廣場與銀橫)

の意買りも致

電話③二六四四张

黑田實法律事務 電話③五四四二十二

糧穀統制法令

滿洲國特許商標登錄 諸書類作成 且刑事訴訟顧問及鑑定貨家貸地管理 理護

四人三九年番

動の自由を保持

モロトフ新外交方針

別ラ定メラ

裁判所構成法施行五十年記念

司法部に行幸

語を賜

つた。最近をいったものきり熱心に説かれたもの 温度真シ政務更長 ル大ナルモノアリ今ヤ園 ル大ナルモノアリ今ヤ園 権フニ司法へ関家ノ安字 ルへ終ノ弾ク欅ブ所ナリ ルへ終ノ弾ク欅ブ所ナリ 飽まで嚴正中立と

直私ヲ去の重張ノ秋

【東京團通】わが司法権獨立 の大憲章裁判構成法が施行されてこゝに五十年、記念すべ きこの日、十一月一日天泉陛 下には大審院をはじめ中央法 新に親臨あらせられた、この 朝天皇陛下には松平宮相、百 就侍從武官長等を從へさせら れ略式自動車歯郷にて午前九 略式自動車歯郷にて午前九

プ氏の獨文草案

は司法権の運用に注

をあげ、更に司法部では昭和な待つてそれぞれ勅語摔讀式を待つてそれぞれ勅語摔讀式を得る。

り奉行され

政策に何等變更はない

造は閣僚の入れ更へに止まり評を加へずたゞ簡単にこの政

福軸関係はなん

須伊開係も刷新されるも

將領、抗戦を拒否

いま大佐の陳遠したところに よれば去月廿二日蔣介石は各 集團長宛

大学ない

新京官營取引所は世

0

は政治的には意味がなく獨伊

任官以上百二十名が熾然とした多列してゐる第二號法廷において優渥なる勅語を下賜せたのは明られた、勅語を拜したのは明られた、勅語を拜したのは明られた、勅語を拜したのは明られた、勅語を下賜せたの。

天皇陛下の行率を仰ぎ、優渥 佐施行五十年記念日に畏くも 【東京**國通』一日裁判所構成**

【南昌卅一日愛園通】本年四 「京山の野に散華した清水、 下川、竹内、風方、大鳥、山 下川、竹内、風方、大鳥、山 下等各部除將兵〇〇〇柱の英 霊を弔ふ合同慰霊祭は卅一日 霊を弔ふ合同慰霊祭は卅一日 の部除長はじめ陸海各部除長 及び在留邦人多数参列の下に

激し、この是き とれてので、 を何ぎ、 便温

法記念日に 一月一日を

構に劃期的な變革をも

英佛の態度を 別項の如く對概でソ聯の新外 の終結を欲してゐるのに反し、英佛側の自己辯護論はし、英佛側の自己辯護論は をあり、從つてポーランドを る、吾人はドイツを目して る、吾人はドイツを目して る、吾人はドイツを目して る、吾人はドイツを目して

ロトア外務人民委員は卅一日 対対よりなる新提案をフイン 諸項よりなる新提案をフイン がでした

芬領の割譲を要求 强化を自職した後

大々的に製道してゐるか、論 は何れもイタリュ内閣改造を は何れもイタリュ内閣改造を は何れもイタリュ内閣改造を

將校に

病歿續出

的に連絡をとつてゐるが、 を結成し汪運動に呼應し、 文地方産業開發の見地から 文地方産業開發の見地から を表本新運兩省の商工團體 も夫本新運動と開始する段

虐たる蔣側陣營

一、第四戦區副司令官余漢謀 常廿二集團軍長衆安徽省政府 管艦たる状況である 修鑑たる状況である 政する將校續出の有線で大別 心身ともに疲勢困憊陣中に病

地に逃還してゐるが故郷 に出てゐるが過數湖南作戰の 地に大変地に長沙に歸 大変那軍の高級特領は相次 大変形域。 大変形成域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形成域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形成域。 大変形域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形域。 大変形成域。 大変形成成成成成域。 大変形成成成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成域。 大変形成成成域。 大変形成成

日滿實業協會總會 新くて中南支に醸成されつゝ ある新機運は各省團體間にも 澎湃として昇まり各黨派を網 連する新汪政権の樹立に全面

記事 よる十月二十九日 会職 (職職の組要語ので海波板加工 をは全然別個のもので海波板加工 とは全然別個のもので海波板加工 とは全然別個のもので海波板加工 とは全然別個のものにして淡 しょう 訂正す 出迷合工と全波日

商况

後-

各地株式市况

とにファシスト黨の實権的地 連絡があるのではないかとのとにファシスト黨の實権的地 地声では右の更迭は外交政策 注目を載く點はかねて親獨的 地声では右の更迭は外交政策 によいて無任所大臣となつた となつたものであらうとみること、これも從來親獨版と噂 向もあるがフォン。マッケンこと、これも從來親獨版と噂 向もあるがフォン。マッケンこと、これも從來親獨版と噂 向もあるがフォン。マッケンこと、これも從來親獨版と噂 向もあるがフォン。マッケンこと、これも從來親獨版と噂 向もあるがフォンスト黨の實権的地 連絡があるのではないかとのとにファシスト黨の資権的地 連絡があるのではないかとの

位から軍事的立場に轉じたことである、但し外交側方面の 批評では右の更迭は外交政策 的意味よりもむしろファシスト (集内部の事情が主たる理由 となつたものであらうとみる

る、ムソリーニ首相は 一十一日發展通」イタ 関の大改造に闢しフラ 関の大改造に闢しフラ

の 政策上の大轉向を行はんとする ・ 内閣の大政造はイタリーが従 ・ 本の親獨政策より離れて外交 ・ 本の親獨立、 本の ・ ・ 本の 本の ・ もの ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ もの ・ もの ・ もの ・ もの ・ もの

農畜產部門

充實整備

生等家畜の貸付を實施さる、近く行はれため乳牛・ を変付する。 を変が、 を変が

產業部明年度豫算

ででは、大の結果本年の

CAN X

0,1

Ye . X 13.2

牙形交換高(二日)

ソー内閣大政治に関して最も

獨政策轉換

かっ

注目される伊内閣

従来もこの種大規模の内閣改 ないないであったが、今次の がたものであつたが、今次の でたものであつたが、今次の であり特にスタラーテェ前 であり特にスタラーテェ前 であり特にスタラーテェ前

氣

新政權樹立に

拍車

合同慰靈祭

管であるが、大綱左の如きも 見、明年四月より開設される

一日を司法記念日とする 一日を司法記念日と たが、今回の重なる光 たが、今回の重なる光

る筈である

たける程度和行動を を関いて をで行ぶため産業部主催の 新 各省農林科長會護第二日は午 前 十時軍人會館に再開、各指 定地に於ける程度和合結成等 定地に於ける程度和合結成等 につき種々打合せを遂げ午後 四時散會した

策が論議された模様である ないて附随的問題として選 に載せ各出席者の間に强化

目覺まし 豫阮軍の活躍

新築落

銀座新道 所

利

品品

用下さい 敷の用意

全満一を誇る 豪華設計成る 公會堂工事着々進捗

が、この程平面圏が出來上つ の機蔵中山克已技師が精魂を がな込んで製作に當つてゐた 張り切る復興委員

れによると本館は大體

満洲色を紹介の

りやいけると

お歴々も感心

試験順高梁飯が最好評

・世界ー ◆の鶏
「年中數等で産み績ける古屋関通」関立岡崎種鶏
場の白レグホンニ羽が天晴れ
養鶏日本の類しい世界産卵新
能力検定のため岡崎種鶏は産卵
能力検定のため岡崎種鶏は産卵
に大阪育のもので昨秋十一月一

對日放送增加 **台月の豫定は六回**

本大二 満洲電々の日本向け放送は日 介にあたることとなつてゐる 本六日(午後八時四十分)「一変」 満層圏の文化交流に對する大 「十一月對日ブロ」 本大二 月中の豫定も六回といふ劃期 「一次一大」 「一方の豫定も六回といふ劃期 「一次一大」 「一方の豫定も六回といふ劃期 「一次一大」 「一方。 「第十一」 「一次一大」 「第十一」 「一次一大」 「第十一」 「一次一大」 「第十一」 「一次一大」 「第十一」 「第十一」 「一次一大」 「第十一」 「第十一」 「第一十二日(午後八時)「刺輸 一十二日(午後八時)「刺輸 一十六日(午後八時)「前線 本人と統後の夕」(新京)出交 のおりの報(出京)について新京 在 一次一十二日(午後八時)「前線 本人と称()「一次一下)「一次一下)」「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)「一次一下)」「一次一下)「一次

傷痍軍人に

を要更して十一時から軍人會にで補職並に滿拓當局と觀談にで補職がに張臧務總理を助ねて同會長河原田文相のメッセージを傳呈感激の握手を交し

たのち遊覧バスで市内を翻 時上版會に臨む、衛三日午前 時十五分新京設列車で哈爾 時十五分新京設列車で哈爾

」森本勇(撫順工業三年) 「大君の邊にこそ」渡邊繁光(鞍山中學五年)「浅陽高 事たれ」本野誠一(遼陽高 事たれ」本野誠一(遼陽高 事たれ」本野誠一(遼陽高 京中學五年)「青年と富氣 に燃えよ」馬場正治、奔京 高業五年)「我等のゆくべ き道」奥村實(公農三年)

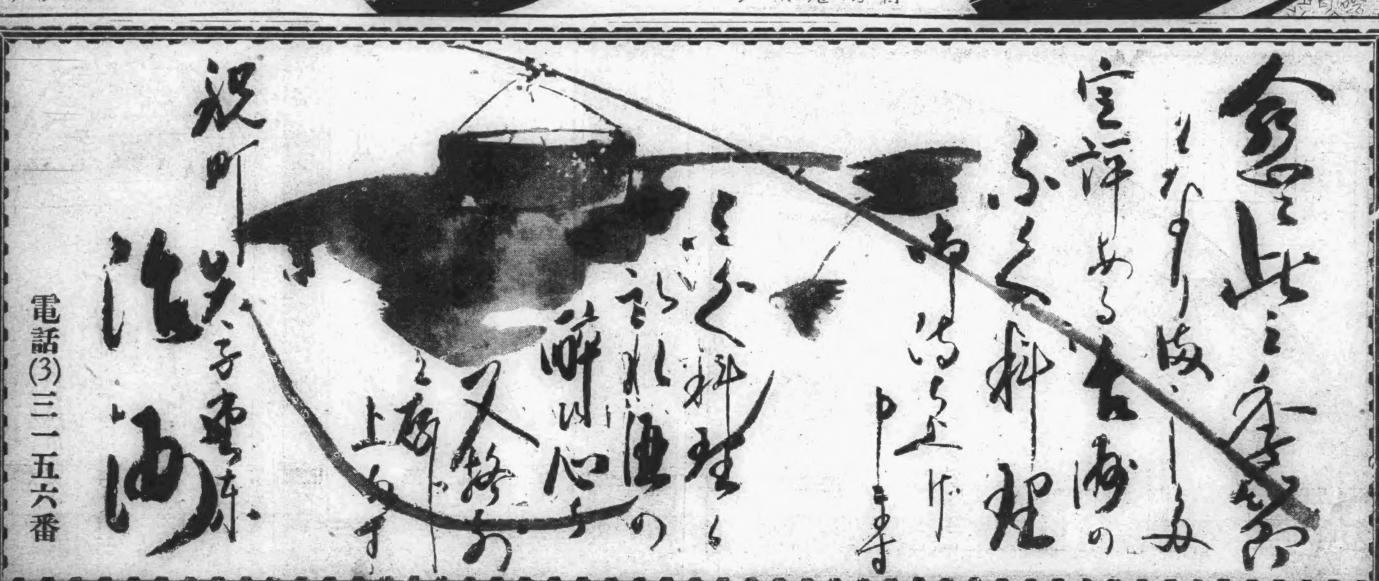
▽…滿赤。恤兵院で無料診療

討伐隊活躍

鐵支社の興電

滋養 豐富

话 声介 空肥 呈進品粗 八甲署 助力



神宮體育大會(成績)

棚江轉時、大浦敷島高 一個東軍齊廉軍門中將 一個東軍齊廉軍門中將 一個東軍齊廉軍門中將 一個東軍齊廉軍門中將 一個東軍

本鉄通ちにまたの記り 一本鉄道を大きない。 一本鉄道を大きない。 一本鉄道を大きない。 一本の記り 一本の記した。 一本の一の一の記り 一本の記り 一本の記したが、 一本の一のでは、 一本の一のでは、 一本の一のでは、 一本の一のでは、 一本の一のでで、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のので、 一本のの一ので、 一本のの一ので、 一本のので、 一ないで、 一 卅一日午後の競技結果関連」明治神宮國民體

本人へ十半時時 1山下好子 (中京高女) 二十十十年 (中京高女) 一二秒五 (高板) 一二秒五 (高女) 二七秒一 高女教) 一二米九九 (日本 のため情験した。 なほ中等所 (1 人 G) 四〇米一五 (1 人 G) 一二秒入 (1 人 G) 一三秒 (1 人 G) 一二秒入 (1 人 G) 一三秒 (1 人 G) 一三秒

東京園通 大學、高事柔道 東京園通 大學、高事柔道

開東州46 17 2 18 節則

39 山口

操學校 神奈川 神奈川

か

?

ルブオルニア州 上げる方法にな 工作る方法にな

の番組

大部ホー

ふ兩都市を衝く

愉快な避難旅行

勃蒙する直前、日にしろ生れて最初なので

幼兒を厭

がら

は一日少くとも四回ぐらいした。 は一日少くとも四回ぐらいした。 は一日少くとも四回ぐらいした。 でですがです、世のかく行ふでから、どなたにもこれくらいの知識は心想でおから、となたにもこれくらいの知識は心想でおからなどなたにもこれくらいの知識は心想でおからなどなかりません

を頭の右か左側にたて、タオルをこれにかけ、このタオルに向つて蒸氣を注ぎます、あたりのもやくした蒸氣を鼻から吸ふだけでも効果は十分です子供の吸入には、一パアです子供の重曹水か硼酸水を

全滿洲庭球軍

日本遠征餘滴

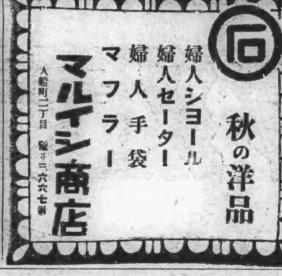
白衣の勇士の観 最後の地廣島に於ける試合は 年後一時より開催されたが、 定例前約一個大麻の傷病酸士 の来場により苦等一同疲勞も の来場により苦等一同疲勞も 一打定れ、急に元氣百倍し一球 一打変素しの概を示したのは 地の廣島での最後の一分であ である。

全日本軍の来滿に際しては、 我等一局の與へこれた此の處 渡手諸君に返し、敢式庭珠を 通じての日隣報書の機を永く 確保すべく心から前つたので あつた

がかも井の中鮭大 これた選手や、同胞半島のる、祖國日本から新に職衆は至つて幼稚なよ 併し吾々満洲烈にな 一飽くまで我田引水的一切であると「加藤と

新京神社/スグ前

三〇(新京)今日のニ のの「哈爾濱」北端の 告知事項。明日の(東・新)時報。 婦人セーター 婦人ショール 秋の洋品 袋







犯罪を起すまで 連命の途を語る 或る女の手記

南鳥人遂に樹立

京無線

大連)經濟市況

に強はれたランドセルの様な がスマスクのみなのです、選 難地に於ける見重の日常生活 はロンドンの様に奥科を中心 としたものでは無く寧ろ運動 を中心として、しかも其の間 であると云ふ風にしてあるし であると云ふ風にしてあるし

伯林見も話の落は食物

清髙

酒級

潇

洲

櫻

新京櫻屋商店

祝を新道、東京六〇三

为司

川 製 売 酒 節

|五(哈爾濱)初等のソ |五(哈爾濱)初等のソ |四(東・新)ニュース 診療時間

時七後午=昨九前午 光線療法科 レントゲン科 階二ルビ倡青目丁三町説院本 番 八 七 八 四 (3) 話 電 階一ルビ安興路大安興 院 分

振興洋行證券部新宗支店

時節向

博多式 水色色

等へ三か1 日本権通り五 6017 株式手鑑 横中語・次県進呈

勢で極いりれ会堂、安倉場製備

惡疲流行の秋

アカシ なる 先づ御台所用品を活潔に 衛生的で使用至って簡便 しませう!

大連 率天

0

前

躍えるし

て、怨みは忘れる事にしよう いとばかり思つて居た。お前 を見かだがら、仕方ないと思つ なったがら、仕方ないと思つ なったがら、仕方ないと思って

ない。それも怖かつた怖かつたが、お前を生んでお来はすたが、お前を生んでお来はすた。 だって山ん中をぐる (歩き) 廻つてよ。お後を捨てゝ出て悪ってよ。お後を捨てゝ出て来た時の罰が當つたと氣がついても、どうもならない。これは俺が死ぬか、お前が死ぬか、お前が死ぬか、とう(人打ち

大きくなつたお歌いたに含ひたい。死したけれど、此の恩たけれど、此の恩

おう、食べるものがなくておう、食べるものがなくておく、食べるものがなくてつて?(堕うなづく)何?そいって?(堕うなづく)何?で着す、そこの文字を指してやる)お、その男は失業してみたんだね。(嗄うなづく)お、お……(新聞を職みながら、又彼の手援、を見てゐる)その男は同なで見てゐる)その男は同なで見てゐる)その男は同なでしてなる。

いに喜ぶべきことであると思ふ。 事である。これは大いに喜ぶべきことであると思ふ。 健来の同賞は主として古い方の文藝をやつてゐる人たちに與へられて來た。現在この國にも古い方の文藝とがあることは事賞である。そして古い方の文藝とがあることは事賞である。そして古い方の文藝とがあることは事賞である。そして古い方の文藝に授賞することの方がより大きい意談を持つであらう。この意味で先づ喜んでよいのである。これは近く出る『婆文徳』の第二輯に登录を行ることをも書ぶのである。 思べば去年の民生部大臣賞もおいてある。 思べば去年の民生部大臣賞もおいたが、更に悠々一百枚の小説「奉沙」を執筆し、おれは近く出る『婆文徳』の第二輯に登表されるといふ。 れは近く出る『婆文徳』の第二輯に登表されるといふ。 はは切に氏の健康と文祺を前るものである (大内隆雄)

さら云ふ場合にどう

言ってゐる

は仕様がないもんだ。

建 (新聞を持つて讀む、それを草の上に投げる、椅子の背に倚り、仰向いて長襲

をして出て行く。) をして出て行く。)

聚

塞尼

はあ……

と、すつと横からすりぬけと、すつと横からすりぬけた代診が出て来て、博士のそだによって何か嫌いて、書いて居るのを覗いて居る。

「何を言ふんでせら。」 もう何か書き出して居た博 士は急に顔をあげてぢつと睨 かし鉄の面には唯、恐怖の色 かし鉄の面には唯、恐怖の色

一言としおし借して、他か 「有味な個付をして枕元を見上げた。

が死ぬか、お前が死ぬかれたは面白い事もして遊んだよ。 な前の生きて、こんだよ。 な前が生きて、こんななにまったがでもなって、こんなながくくしてたが、さつと変しに來るだららと、きつかとなって、こんなながらったが、な前が生きて、こんなながよ。 くしてたが、とがはりお前さんは生きで居たんだね。でも殺したら、やつと安心し見たら、やつと安心し見たら、やつと安心しした。

い。そんな事はないだが来てれ、あゝ。先回 手は何處へ行つた?何 光刻の運用 先刻の運用 ない客

發行所

大日本雄辯會講談社

本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本地上満年 本市の世界を集場ので、 を表する日本は一年 を表する日本は一年 を表示された。 は要変変を発した。 本書のは、 の日本によって、 の日本によって、 の日本によって、 の日本には、 でいた。 の日本には、 の日本に

⊚おいはひに− **◎おみまひに**=

本繪の社談講

の病状で明朗な漫畫の稽本 の忠臣や幸子や偉人の確本 の忠臣や幸子や偉人の確本

講談社の繪本には

その他各種の給本が出てゐます

◎ごはうびに=

な、物漢じい顔になつた。 が漢じい顔になつた。 外、人をひかなかつたら、一 生、食つて行けるからね。」 運轉手は一宮も言はなかつ た。唯、目をキラくくさせて 標へながらぶつく、幅いで居 る土氣色の唇を、怖ろしげに 病室から出て来て苦笑しながら 壅

な、物凄じい顔になつた。 類が異線に慄へて笑ふやう が、僕も同じやとな流派のバラインな流派のバライン しやらに考へる

院医利吉

部) 本大吉林(十月號) 本大吉林(十月號) 本大吉林(十月號) 本大吉林(十月號) 「大場丈米」「市縣族めぐ 「か、古縣の卷一」その他(「か、古縣の巻一」その他(「か、古縣の巻一」を加めく

本端州評論(十月廿八日號) 時評「全聯と隻手の際」 「 時金部新設への期待」「 時金部新設への期待」「 作金部新設への期待」「 作一「軍横經濟と戰争、下、 「年一「軍横經濟と戰争、下、 「等(大連、滿洲評論社、 「等(大連、滿洲評論社、 度送宛社新介

> 新刊三册! 忠義の心

> > 申込殺到、文教到

特別讀物「强い日本の兵事本は小概公の忠と奉と武勇と動事本は小概公の忠と奉と武勇と動事本は小概公の忠と奉と武勇と動為ない。この 心を養ふ繪本

幼兒の生活訓練に

でける遺言である!と激賞!!父なきあと」は、皇軍勇士の 御覧下さい。(三大附録つき特徴七十銭)

◎吉川英治氏は

一 でしく通ぶ箱切な問題でありませう。 できか? これこそ死を期して戦闘を配く全所兵の胸に できか? これこそ死を期して戦闘を配く全所兵の胸に なった。 要は、子供は如何に生く 愈、發表!! 人俱樂部十一月號に 父なきあとな 題 0







一十(年四十和昭)年 六 意 課

「日時に左の部屋では、戸が開き、一人の部屋では、戸が開き、一人の新聞賣りが入つて来る、単衣の伸子、上からはぼろの袷を着てゐる、響を上してゐる、華を見れといふことを示す、外関式の禮をする、気を付けの姿勢をし、「アア」と

まった。 は食は含と は食は含と はなせたとい なを吐き)を

と食 (やはりティテイタ、 ティテイタ、ティテイタ、 ティテイタ、ティテイタ、 フィタテイタとやり) 「へえ い、いゝ話を随分お聞かせ したんだが、何とか惠んで でさいよ、こちとらにした つてさら見楽てたものぢゃ ありません、詩の話もしま せらし、三綱に五常も心得 せらし、三綱に五常も心得 日系作家と

de

比較

見

る

盛京文藝賞 一古丁な川なり 大内 校正の時にやるつもりで居つたが、今度は木屋の都合で変せてしまつたもの

川 「原野」は勿論建園 後ですね。 さうです。

事である。これはよ 事である。これはよ 大のる家分京報

長谷川 僕はそれで考へたんですが、大連で讀む場合と色々感じが違ふと思ふ。其處に「原野」の面は味があると思ふ。新京で讀が幾つて來ると思ふ。新京だからこそこれが本當に取上げられて、我々が鎮面目に考へられるのであると思ふ。新京だられるのであると思ふ。新京だられるのであると思ふ。新京だられるのであると思ふ。新京だられるのであると思ふ。推薦を見てもこれだけで簡適に交取れなひものがあると思ふ。推薦を見てもこれだけで簡適になつて居つた作家の高でも又違ふ。やはり今の高でも又違ふ。やはり今の高でも又違ふ。やはり今の高でも又違ふ。やはり今の高でも又違ふ。とが大きな問題で、取上げられたけれども表々はもつと考へて見た

授賞本年度の

非常に讀むだら

か。どういふ點がはつきりか。どういふ點がはつきりか。どういふ點がはつきり本人の作家が一步進んで居本人の作家が一步進んで居ると斯う云つて居る人も可 山田 一つ一つの はならぬです」 ばならぬです」 一般的な傾向と地較してどう 一般的傾向と比較してどう とういふ點がはつきり れは大いに選ふで

ひですね。 一と通り顧まなけれ でうなものを感じまれた人は第一印象

四

ひ込んで居るといぶ悩みだっかにAと云ふものを背負の外にAと云ふものを背負の外にAと云ふものを背負

今村 作品だと

ますからね。氣候、風土、 馬車が居つたり、凡でがロシャ的な風景が非常に面白シャ的な風景が非常に面白いと思ふんです。ロシャ文學を我々に近いものと感ずる。さらいふ意味で困兵さん。これは非常に好ましい作品だと思ふんですね。 でさら云ふことを一つは感じ言へないことだけれどもは言へないことだけれども日本人の書く作品はどうもひよわい、弱い感じを受けることが多いやうな気がするのです。さう云ふ點でやはり現在までの所は此の肌もの遊ひがあるといふこと 中備の不足と

今村 来材の取上げ方は間遮って居ないと思ふが、只だって居ないと思ふが、只だって居ないと思ふが、只だったの上に自分の生活を建設しようとすれば非常に良いと思ふんですが。と思ふんですが。と思ふんですが。と思ふんですが。ますからね。氣候、風土、と思ふんですが。

を食 (直ぐぞれを受けて) で辛いと言べば辛いにも色 き、こちとらこそ本當に辛らがさあ、もら本當に致ります」(ティティタ、ティティタティタ、ティタティタン・カー ます」(ティティタ)へえーー は さ、あつち行つてぐれ (銅貨一枚を出す) あんまりらるさく言ふな。

かれて居りますけれどもまかれて居りますけれどもま









の人格の育成ーの海線の発達ー る繪本

信用ある書店に全部そろへてあります。談社の繪本は、目下百餘種製賣中で、 ぜひ店頭で實物につ いて御檢討下さい 大事李供に

可愛いお子様の為に 目でわ

村置店

文閣

隊約募集

各地書店にあります

お配きご注文下さい。

で現品一覧下さい

全十五卷

度載とお話!

靴トランク の御用命は



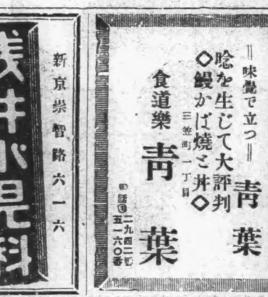
を食用軍は度一に週一 分食一の飯御函一













■話③五二三八



无

禮 支

にてお見違へる程美しく致します術はニキビ、ソバカス、シミを除 品・技術に定評ある當院へ
然バーマネント機二台ドライヤ七台増設使用薬品は最良時局柄清楚な髪型を御奬め致します米國製シエルトン優 術はニキビ、ソベカス、シミを除去し而も安全な漂白法獨特な機械設備による現代科學を高度に應用せる美容技 美 「ウエーヴロ

な着附法にて(カツラ及最新流行柄振補御需に應じます) 獨特な化粧法と東京一流の美容技術者の長所を採る嶄新

度

啊に最高潮

神宮體育大會第四日

事官邸で御貨影拝賀式を學行 別治節に午前十時三十分から 明治節に午前十時三十分から 明治節に午前十時三十分から

大臣賞銓衡協議 水年から墓

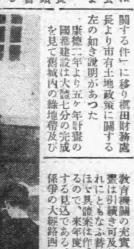
曹教育並びに関策宣傳に賞

教育視察團 張總理と交驩

を傳呈

の 利等促進をしたいの 観等促進をしても同文會にはとしても同文會にはかかを期待する。 かんだい なほ

第七回新京市街地區長會議は 門一日午後一時三十分から市公 場合議室で開催、市公署側より制屋副市長、汽行政科長等が出席、勢頭 岸水行政科長等が出席、勢頭 最高値の提出せる「満系町會 最日本内地行政見界に関する 一個の意見と完全なる一致を見 て近く具體案を更に協議する



傷兵輸送用に 飛行機を献納 全滿の醫療關係起つ

車「新京號」献納に練いて今度は新京蟹師會、強楽和命會、強楽和命會、強楽和会、満銭響楽和師會、選楽和会、満銭響楽和師会、満銭を献納する事になり全長生部保健司、満銭保健課後のもとに傷病兵士輸送飛行援のもとに傷病兵士輸送飛行行ふ事となつたが、一口一回り上で十二月二十日を以つてある。

滿洲代表決定

花岡日賣專務

米團體競走

れる日本

時水煖機

級務 文 用 文 具品具 紙具 奉紙學和 紙書加校洋 工用帳 卷 品品簿

章 (3) 大六二二 六六一八 三三六四 五大五六



工業株定 文 出張所 店 店 新京豊樂路七○五茶地 本天市信濃町一三番地 本天市信濃町一三番地

店 天津、北京、青島、東京 電話代表 (23) 五六九八番 地方、青島、東京

全市を六區に分ち 、區整理斷行

中堅指導者近

である、地價の問題等も考 | 社長より地紛爭問題も傳家の寶刀を を懇話、地紛爭問題も傳家の寶刀を を懇話、

、大會社、工場を除く 原による各區内に於け 類による各區内に於け りも詳細説明あり協力、別に日満商事新京支 表を各属長に作成を方

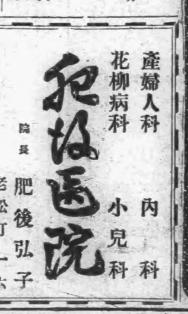
す積りである 本社の貸借料も不動産 本語を排してあるが、多大 を制定書城内の如き を対してあるが、多大 のののであるが、多大 のののであるが、多大

するため完全なる區制企園の もとに現在の警察區域及び地 糖整理局等の方針と協調し大 簡現在の十萬を六属に改定し 漸進的に區事務所設立を遂行





花柳病科 產婦人科 電③五七〇九番老松町一六





郷軍の饌米遞送 式次第も本決 一盆家屯驛(午後二一一 大馬路 る七日孟家屯

り調示あり同五時三十分解散時出發)盛京大街―和平街―安民廣場(午後四時三十分着)

経済統制怨談會 協和會、四平省協和會で開催 協和會、四平省協和會で開催 後と市民生活の重要問題である白米、小麥粉、石炭等の配 時に「經濟統制と實生活潔談會 目より十一月一日迄各地分會 時に「經濟統制と實生活潔談

陶

器

製

商店店

H

新住ブラゴ 前外務局政 一日午1

中後五時二十分發あ

じあで多数の見過を受け出彼 りの夫人】

郵政局のスリ 東三 株通四十科野洋行方印要キャニさんは一日午前十時頃日本 橋通郵政局切手質場窓口で切 音購入中何者かに袂に入れて 置いた財布(現金二十圓在中) を掏られてゐるのに氣付き中 郵政局のスリ

南倉時間自午前十一時至午後五時 京吉野町公會堂横 京 屋 族 館 京吉野町公會堂横

一、氣持良~期らかに働ける店、旅費

業

電 日本楼通七三 電3.6163

株式會社間組新京出張所

支給する動られ

カフェー赤玉から銀座新道を一年後十一時五十分領東一條通二二兩未安雄さんは三十一日二二兩未安雄さんは三十一日

高

會合 名

洋行

日本橋通

事內

製製

巡署に国け出た ※百七十間在中)

展並びに同大會に滿洲國回教 後代表として派遣される代表 並びに關係者は一日左の六氏 と決定、十日午前八時十分新

日本変素株式會社事務化問千七本変素株式會社事務の就任被震変を催した

房

部部部部

械

道

氣天

野協・門の風・野協・門・野協・門・野会・

